



—①—

環境問題をメインテーマに、温暖化対策や食料問題について各国首脳が意見を交わす北海道洞爺湖サミットが七日、開幕する(九日まで)。私たちに、国際社会の進むべき道は、そして日本の果たす役割は…。サミットを前に、九州の関係者に期待と注文を聞く。

招いている現状を、どう受け止めていますか。

「原油高が食料不足を伴ったものではありませぬ。投機的な動きが、日々の暮らしに直結する食料の供給不足や需要増に

「町村信孝官房長官がコメの生産調整(減反)政策を見直す発言をしま

り異常。即廃止すべきで二〇〇〇年に導入された

「戦後の農業政策は、農地解放などの数少ない成功例を除けば失敗の連続で、その一つが減反です。一九七〇年代から続

「人口が一億人規模以上で、日本ほど自給率の低い国はありません。万が一の事態になれば、飢えに直面する。自給率を

「農業にしても漁業にしても、直接に人の命がかかわる食料の価格が、投機的行為の影響を受けやすいシステムづくりが急務です。さらに、農業に

「戦後の農業政策は、農地解放などの数少ない成功例を除けば失敗の連続で、その一つが減反です。一九七〇年代から続

「戦後の農業政策は、農地解放などの数少ない成功例を除けば失敗の連続で、その一つが減反です。一九七〇年代から続

「戦後の農業政策は、農地解放などの数少ない成功例を除けば失敗の連続で、その一つが減反です。一九七〇年代から続

「戦後の農業政策は、農地解放などの数少ない成功例を除けば失敗の連続で、その一つが減反です。一九七〇年代から続

「戦後の農業政策は、農地解放などの数少ない成功例を除けば失敗の連続で、その一つが減反です。一九七〇年代から続

「戦後の農業政策は、農地解放などの数少ない成功例を除けば失敗の連続で、その一つが減反です。一九七〇年代から続

農業守り自給率アップを

水俣市久木野ふるさとセンター「愛林館」館長
沢畑 亨さん (46)



さわはた・とおる 東大大学院修了(林学専攻)。1994年、全国公募で愛林館館長に就任。森林や棚田の公益的機能への理解を訴え、保全に取り組み。熊本大などで非常勤講師を務める。著書に「森と棚田で考えた」(不知火書房)。

上げるには、例えば、学校給食を完全な米飯にするなど、日本に合った食生活を取り戻すべきでしょう。日本が輸入量を減らせば、食料不足に悩む世界に寄与することにもなります」